

## 横浜市防災センター再整備について

## 1 基本設計について

## (1) 再整備コンセプト

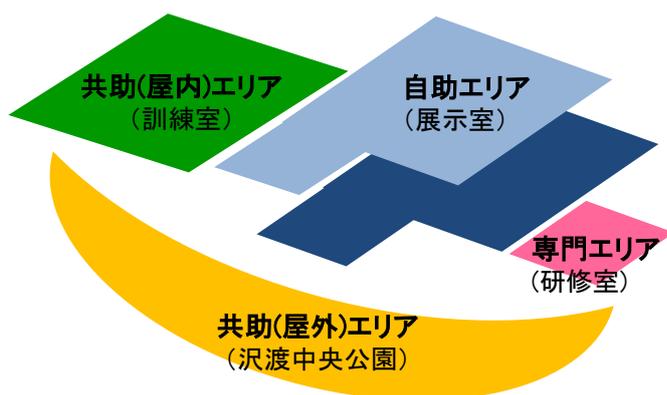
「自分の命を守る」**自助意識**  
「お互いに助け合う」**共助意識**の啓発と  
その**行動を起こす**ことができる人を育成する場

## (2) エリア展開

## 自助エリア

自助行動を中心に学習・体験

別紙参照



## 共助(屋内)エリア

自助エリアの体験を振り返るとともに、  
大空間を活用して共助を学ぶ

- ・ワークシートを活用し、体験を振り返る
- ・屋内消火栓・初期消火箱等の操作体験
- ・実大避難所運営ゲーム (HUG)
- ・災害のメカニズムなどのワークショップ
- ・救命講習
- ・団体等の休憩スペースとして活用 など

消火箱等操作



HUG



液状化メカニズム



## 専門エリア

より専門的な研修等による知識の習得

- ・防災の指導者のためのセミナー
- ・消防職団員、防災センター要員、自衛消防隊員等のための研修
- ・防火防災管理者講習等の開催
- ・DIGの実施や最新の防災情報の紹介など

## 共助(屋外)エリア

共助等の実践的な体験

- ・実際の炎の熱を体感しながら行う消火体験
- ・地域防災拠点の資機材を使った救助やトイレ設営等の訓練
- ・遊具等を活用した訓練 など

消火体験



遊具活用



かまどベンチ



## 2 運営面の工夫取組状況について

### (1) 小学生に対する教育

#### ア 教育委員会との調整

市内の小学生に積極的に利用してもらうために

- ・一つの学校の1学年が一度に来館しても対応可能な施設とすること
- ・体験学習の必要性を認識してもらうためには、教員への研修も必要であること

などの調整を行っています。

教員への研修を当施設で実施することにより、当施設に来館した際、引率する教員自身が、子ども達に対しアドバイス等をできるようにするとともに、普段から学校内においても、効果的に防災教育を行うことが期待できます。

#### イ 近隣区の小学校から意見・要望を確認

近隣の神奈川区・西区の小学校校長会を通して、両区全小学校から基本設計に関しての意見、要望を確認したところ、

- ・体験を多く取り入れ、説明等は低学年でもわかるようにすること
- ・プログラムを学校のニーズに合わせて選択可能にすること
- ・昼食をとるため等の休憩場所を確保すること
- ・トイレを、洋式便器にする、女性用を増やす等、使いやすく改修すること

などの意見がありました。それらを考慮し、今後プログラムの作成等にも反映させていきます。

### (2) 民間企業等との連携

#### ア 民間企業との連携

「公民連携協働事業」として、当施設の展示ブースの運営協力や、物品・情報の提供による協賛、防災グッズの普及方法に関する提案など、ハード・ソフト両面のあらゆる方法についてアイデアを公募したところ、現在までに

- ・防災器具の提供
- ・広報のためのグッズ提供

などの提案がありました。今後は提案企業と対話を行い、実現可能なものについて、連携事業者を改めて募集します。それにより、経費をかけずに最新の防災用品等の紹介・普及ができます。

#### イ 研究機関等との連携

研究機関が作成したコンテンツや報道機関の映像等の利用について調整しています。

- ・災害シミュレーション等の映像コンテンツ
- ・過去の災害記録映像 等

#### ウ NPO 法人等民間団体との連携

高い知識・技術、専門的なセミナーなどを開催するための協力について調整しています。

- ・災害救援ボランティア推進委員会
- ・公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会 等

#### エ 同様施設との連携

幅広い情報を提供するため、他施設のイベント情報等や、展示資料・過去の災害データなどについて、情報共有・相互協力できるよう調整しています。

- ・そなエリア東京
- ・人と防災未来センター 等

## 1 ウェルカムホール

安全で安心な横浜を演出してお出迎えし、来館を促す

- ・ファミリーで体験できる展示を配置し館外からでも施設の賑わいを感じさせる。
- ・消防士の肖像で、「消防しさ」をアピールするとともに消防団の大切さを伝える。
- ・よこはま地震防災市民憲章を展示し普及させる。
- ・企業と連携し防災グッズ等の展示等を行う。



## 2 YOKOHAMA災害タイムマシーン

臨場感あふれるシアターで横浜に起こりうる災害を想像

- ・過去の災害に学び、未来の災害を想定したストーリー
- ・大地震が横浜で起きた場合を想定した、ストーリー性のある映像。
- ・横浜市の各エリアの想定被害を伝える。
- ・立体感のあるスクリーン構成で、震災の状況を投影する。
- ・映像・照明・音響などの演出により「震災の怖さ」を表現する。



## 3 3次元地震動シミュレーター

自分の住まいの地域、建物等の揺れや被害を具体的に体感

- ・3次元振動、映像、音響の組合せで「地震」を再現
- ・震度階(地域)ごとの揺れや長周期地震動を再現
- ・映像・音響と振動の組合せパターンを複数設定することで、戸建住宅や超高層など、様々なシチュエーションを再現できる。



- <映像コンテンツ>
- (1) 低層(1~2階)
  - (2) 中層(3~6階)
  - (3) 高層(7~20階)
  - (4) 超高層(60m以上)
  - (5) 道路
  - (6) 東日本大震災
  - (7) 阪神・淡路大震災
  - (8) 関東大震災
  - (9) 想定地震



10 防災ライブラリー

様々な防災情報を提供する

- ・ 体験の振り返りや防災Q&A
- ・ 防災情報Eメール登録など



9 緊急情報

緊急時の情報伝達方法について知る

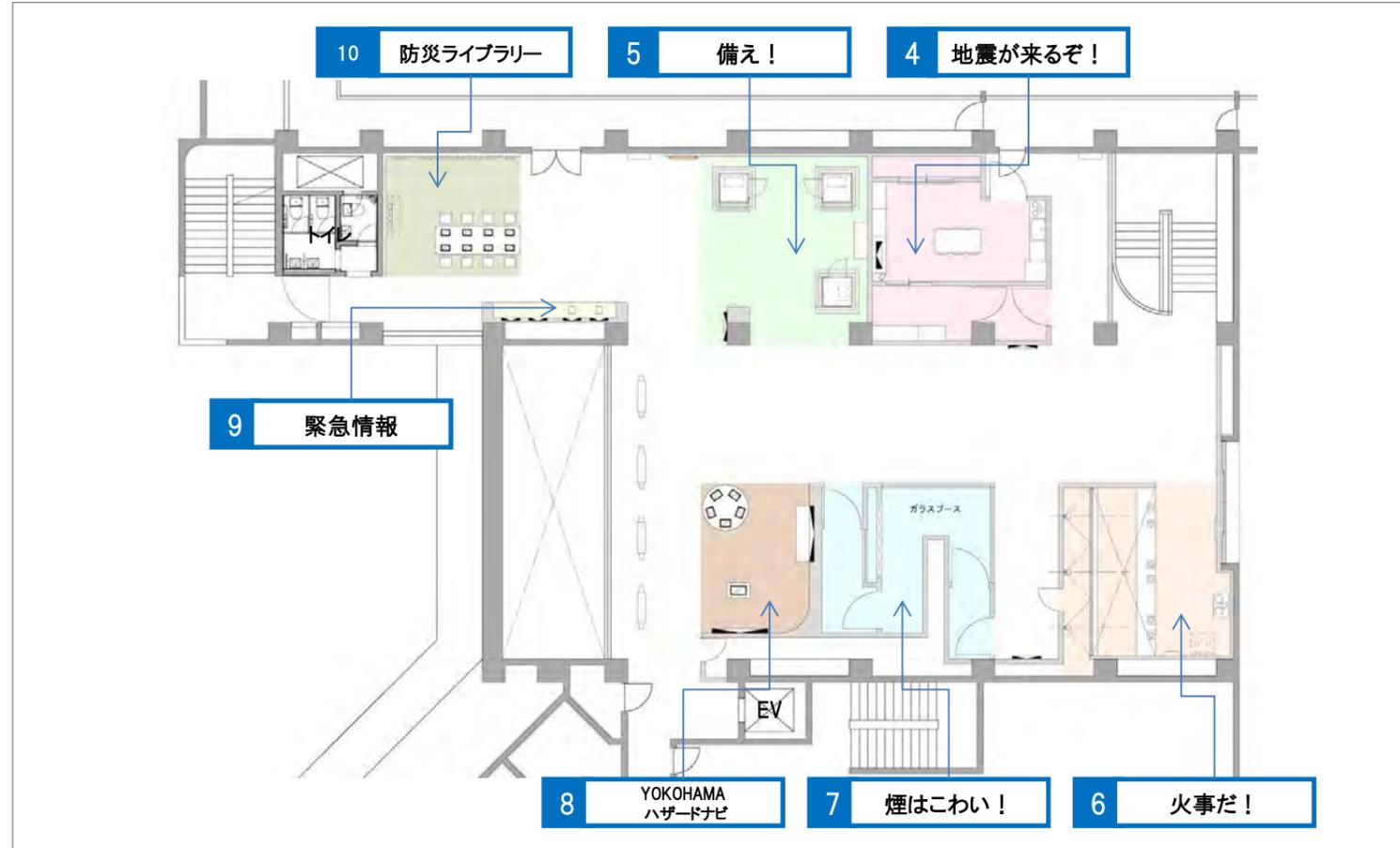
- ・ 119番通報
- ・ 災害伝言ダイヤル171
- ・ 緊急地震速報
- ・ 津波警報伝達システム



8 YOKOHAMA  
ハザードナビ

災害発生時、自分の街で  
どんなことが起きるのか、想  
定される被害やその特性を  
学ぶ

- ・ ハザードマップ(洪水、津波  
浸水、土砂災害等)を3DCG  
で表現
- ・ 横浜の地形の変遷
- ・ 津波、火災延焼シミュレ  
ーション



4 地震が来るぞ！

地震発生から停電までの  
流れを体験し、身を守る  
行動を学ぶ



【体験前ガイダンス】  
体験方法の説明

【体験中】  
暗視カメラで中の様子  
を見て学ぶ

【体験後ガイダンス】  
正しい行動について

緊急地震速報！  
直前に地震を察知

暗闇の  
中から  
避難

※  
スタッフが  
地震が来る  
までの時間を  
設定できる

揺れが来るまでできる行動！  
火を止める  
避難経路の確保や  
ガラス飛散防止のため  
カーテンを閉めるなど

音響で地震の演出  
机の下に隠れる！  
身の安全を守る

停電！暗闇に

7 煙はこわい！

煙の特性を知り、建物  
構造に応じた避難行動  
を学ぶ



避難ドア 防火シャッター

煙発生エリア

【体験前ガイダンス】  
体験方法の説明

【体験後ガイダンス】  
正しい行動について

低い姿勢で  
避難行動

防火シャッター  
脇の避難ドア  
から逃げる

6 火事だ！

火災発生時の行動を  
実際に体験して学ぶ



【体験前ガイダンス】  
体験方法の説明

【体験後ガイダンス】  
日頃の注意事項

住宅用防災警報器  
が鳴る！

「火事だー！」  
と大声で  
周囲に伝える

熱風装置

火災の「熱」を体感  
消火器で消火

成功すると消火  
失敗すると延焼

5 備え！

家具類の転倒・落下防止  
を体験し、家庭での減災  
行動の実践を促す



【体験前ガイダンス】  
体験方法の説明

【体験後ガイダンス】  
最新研究データに基づいた備え  
について解説

体を使って  
揺らしてみる  
転倒の怖さを実感

器具を選ぶ

家具固定の実践

再度揺らし、効果  
を実感する